

# COURSE E 港南のまちをまるごと満喫コース

※ルートは逆の順番からも回ることができます。



COURSE E 港南のまちをまるごと満喫コース

発	JR品川駅港南口	移動時間	10分
1	ココヨ株式会社	5分	
2	ソニーグループ株式会社	3分	
3	品川シーズンテラス	10分	
4	芝浦水再生センター	10分	
5	新港南橋	5分	
6	高浜運河沿緑地	5分	
7	御橋橋	6分	
8	鯨ギャラリー	10分	
9	雲鷹丸	5分	
10	港南公園	10分	
着	天王洲ピア桟橋	6分	

所要時間(見学・休憩含まず) 約1時間20分

## COURSE E 港南のまちをまるごと満喫コース 総距離約3.5km

**1 ココヨ株式会社**  
 文具や家具の製造・販売、通販や小売事業を軸に事業を展開しています。「働く」「学ぶ」「暮らす」の領域で、豊かな生き方を創造する企業「WORK & LIFE STYLE Company」になることを目指しています。1階は平日一般公開され、様々な文具やオフィス家具を試すことができます。コーヒースタンドも併設されています。

**2 ソニーグループ株式会社**  
 「クリエイティビティとテクノロジーの力で、世界を感動で満たす」というPurpose(存在意義)を掲げ、主に6つの事業を通じて、グローバルにビジネスを展開しています。そうした多様な事業を通じ、「感動」と「人」を軸とした経営に長期視点で取り組んでいます。

**3 品川シーズンテラス**  
 老朽化した下水処理施設(芝浦水再生センター)の再構築に伴い、上部空間を有効活用して建設されました。芝浦水再生センターの下水熱や再生水などを活用した空調熱源やトイレ洗浄用など、環境配慮型ビルとなっています。

**4 芝浦水再生センター**  
 昭和6年稼働した東京都で3番目に古い水再生センターです。処理区域は、山手線の内側の大きさに相当し、処理能力は1日83万トン。貯留地雨天時に9.5万トン貯めることができます。上部利用として、品川シーズンテラスや芝浦中央公園があることが特徴の一つです。

**5 新港南橋**  
 昭和54年3月架橋。「港南」の名称は、港区の南端にあることから名付けられたそうです。橋の下には、東京都下水道局芝浦水再生センターの排水口があり、再処理後の温かい水が運河に流れ、スズキやボラなどの魚が集まってきます。またカルガモやゆりかもめなど多くの渡り鳥も観察することができます。

**6 高浜運河沿緑地**  
 平成元年に、くつろぎやすらぎを目的に高浜運河に沿って整備されました。浜路橋から、新港南橋、御橋橋を通して楽水橋までを周遊できる遊歩道は全長2.6kmあり、安全で快適なランニング・ジョギングコースとして人気です。春は桜並木が美しい場所の一つです。

**7 御橋橋**  
 橋名の由来は万葉集・防人の歌「今日よりは顧みなくて大君の、醜(しこ)の御橋と出で立つ我は」から引用された説があります。近隣にある東京海洋大学は、昭和19年海軍経理学校が築地から移設され、多くの経理学校修了生が御橋橋から戦地へ船出したそうです。夕刻時はライトアップされ、夜の散策も楽しめます。

**東京海洋大学**  
 東京海洋大学は、国内唯一の海洋系大学です。**8・9**は敷地内にあり、正門から西門へ通り抜けていく途中にあります。

**8 鯨ギャラリー**  
 東京海洋大学の敷地内にある「マリンサイエンスミュージアム」の一部です。ギャラリーにある、世界最大級の17mの鯨の骨格標本は見ごたえがあります。日曜休館、入館無料。  
 ※感染症対策のため入館制限を行っている場合があります。詳しくはホームページをご確認ください。

**9 雲鷹丸**  
 明治42年に建造されたバーク型帆船です。捕鯨実習や日本の漁場開発に貢献するとともに、蟹工船の先駆けとなりました。昭和37年に現在の位置に移設され、登録有形文化財として、構内に展示されています。

**10 港南公園**  
 A面からD面の4つの部分からなる公園です。ブランコや滑り台などの遊具、高浜運河を眺めることのできる安らげる空間などがあります。公園前にあるARTオブジェ「Tap」も人気の撮影スポットです。

